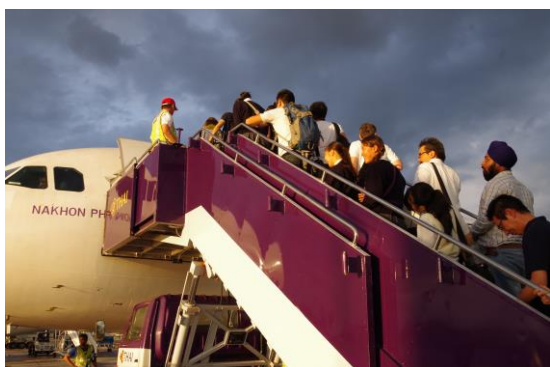




8月19日（水）カンボジア・プノンペンに到着しました！



[バンコクではタラップからの乗機]

8月19日（水）～8月23日（日）、本校の課題研究グループのLABO3のメンバー7名がカンボジアで研修を行います。この研修は、「途上国で活躍する女性リーダーの研究」をテーマにしています。生徒たちは、カンボジアの支援のため、現地の方たちの雇用機会を増やして、持続的に経済的自立を支える日本人女性グローバルリーダーの仕事に密着します。また、東南アジアの歴史や文化についても学習し、アジアの一員として、日本人として、自らの立場を考えます

本日、成田からバンコクを経由し、約8時間かけてプノンペンに到着しました。

8月20日（木）午前は技術学校、午後は歴史の見学地を訪問

【日本国際ボランティアセンター技術学校】自動車整備士養成を目的としており、現在約200人の学生が学んでいます。校長先生から技術学校の歴史や若者の現状についてお話していただき、その後、夏休みの特別授業を受けている20才前後の若者たちとフリーディスカッションを行いました。短い時間でしたが、とても積極的に交流し、お互いに打ち解け合うことができました。生徒にとっては大変印象に残った時間になりました。



[ディスカッションの様子]



[ディスカッションを終えて 集合写真]

【トゥール・スレン虐殺犯罪博物館、チュンエク大量虐殺センター（キリング・フィールド）の見学】カンボジアの重い「過去」を学ぶことは、「今」を学ぶことに繋がります。凄惨な様子を目の当たりにし、一瞬言葉を失う生徒もおりましたが、生存されている方に直接お話を伺い、知見を広めることができる貴重な機会となりました。



[ガイドさんの説明を聞く]



[重い「過去」を学ぶ]